

◆ 5月号の予定 ◆

特集 「日本経済のデジタル化」

今日、デジタル技術は私たちの暮らしや仕事の中に深く浸透し、利便性や生産性の向上に大きく貢献している。日本経済のさらなる活性化にはデジタル技術の活用を通じたイノベーションが欠かせない要素となっている。この特集では、国民生活、政府、企業などの観点からデジタル化の進展状況を分析し、今後の課題を考察する。

論考・論文

- ・「デジタル社会の実現に向けた重点計画」と政府の取組
- ・日本社会へのデジタル化のインパクト
- ・ICT導入と企業経営－効果をもたらすメカニズムと「日本型システム」の課題－
- ・日本経済のIT化と生産性

寄稿

- ・人口戦略会議提言『人口ビジョン2100』－これから取り組むべき人口戦略－
- ・国際生活時間学会(IATUR)第45回大会の概要－社会生活基本調査をめぐる議論を中心に－

統計ウォッチング

- ・財政赤字の適温理論－世界標準の財政理論では「財政赤字＝悪」とは限らない－

統計寸評

- ・電子商取引の統計的把握について

データサイエンス系学部を訪ねて

- ・一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部・研究科
－社会科学とデータサイエンスの融合によるビジネスと社会の課題解決を目指して－

連載

- ・国際統計制度とは何か (21)－生活時間統計－
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線 (16)
オープンデータを活用した探究活動における課題の形式知化

小中学校の統計・DS授業の実践事例 (Sinfonica表彰：優秀事例)

- ・第3学年算数科「表とグラフ」の学びと連動した理科「自由研究をしよう」における授業実践

統計利活用コーナー

- ・統計データ分析コンペティション2023受賞論文 高校生の部 統計活用奨励賞

英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・Dennis Trewin, Nicholas Fisher, Noel Cressie著 “The Robodebt tragedy” 抄訳と解説

書評

- ・宇南山 卓 著『現代日本の消費分析』

◎「特集」のテーマ (2023年12月号～2024年11月号)

- 2023年12月号 — 統計的方法の適用に関する国際標準化
- 2024年1月号 — EBPMと統計
- 2月号 — クラウドファンディングの発展:現状と課題
- 3月号 — ビッグデータの有効活用に向けて
- 4月号 — 高等学校情報科教育導入のもたらすもの
- 5月号 — 日本経済のデジタル化
- 6月号 — 2024年全国家計構造調査
- 7月号 — エネルギー需給の動向と展望
- 8月号 — 外国人労働者に選ばれる国になるには
- 9月号 — 計量心理学・行動計量学系の調査論と分析
- 10月号 — 賃金の上昇トレンドは続くのか
- 11月号 — 統計データ分析コンペティションを振り返る

(注)「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

◎連載

- ・国際統計制度とは何か
…2021年1月号から隔月連載
- ・公的統計の利活用推進と21世紀の統計行政
…2022年2月号から隔月
2023年2月号まで連載
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線
…2021年7月号～毎月12月号まで
2023年1月号～毎月2023年7月号まで
2024年3月号～毎月連載
- ・2025 SNAの最前線
…2023年4月号～2024年2月号まで隔月連載